

部分床義歯補綴学

担当者	教授：樋口大輔 講師：笠原隼男、吉田裕哉
授業概要	4年次の部分床義歯補綴学および歯科補綴学実習、5年次の臨床講義、臨床実習で得られた知識の関連性について理解を深める。また専門的な補綴装置の適応・設計・手技について理解する。
教科書	藍 稔ほか：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第4版）」（学建書院） 赤川安正ほか：「歯科学生のパールデンチャー（第6版）」（医歯薬出版） 大久保力廣ほか：「パールデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	TECOM 出版：「歯科国試 ANSWER 2025 vol.10 歯科補綴学2」 山下秀一郎ほか編：「有床義歯補綴学」（永末書店） 森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版） 佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学（第2版）」（永末書店）
フィードバック方法	・講義、実習内容の質問は、その講義を担当した教員に申し出ること。 ・必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	1. 科目としては部分床義歯補綴学であるが、歯科補綴学総論・全部床義歯補綴学・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学の内容を取り扱うことがあるのでスケジュールを確認すること。 2. 教科書は最新版を必ず確認すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復 習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること(45分)
オフィスアワー	講義終了時から当日17:30まで 樋口大輔、笠原隼男、吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標(SBOs)	担当者
1	5月21日(火) 1時限	部分床義歯補綴学1 欠損歯列の病態 部分床義歯の構成要素 支持・把持・維持	歯の欠損に伴う顎口腔の変化について説明できる。 歯の欠損を生じる因子について説明できる。 欠損歯列の分類法の必要性和臨床的意義を説ける。 部分床義歯の構成要素を列挙し、説明できる。 支持・把持・維持に関与する構成要素を説明できる。 義歯に加わる力を説明できる。 支台歯と顎堤の負担能力について説明できる。	笠原 隼男
2	5月21日(火) 2時限	部分床義歯補綴学2 支台装置 連結子 床	支台装置の一般的所要条件を説明できる。 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 連結装置の役割と所要条件を説明できる。 大連結子の種類、特徴を説明できる。 義歯床の役割と要件を説明できる。	笠原 隼男
3	5月29日(水) 3時限	部分床義歯補綴学3 診察・診断 前処置 印象採得	医療面接、インフォームドコンセントを説明できる。 診察項目を説明できる。 治療計画の基本的順序と左右する因子、提示方法を説明できる。 広義の前処置と狭義の前処置を説明できる。 印象法の種類と特徴を説明できる。 印象材料について説明できる。 印象用トレーについて説明できる。	笠原 隼男
4	6月3日(月) 1時限	部分床義歯補綴学4 部分床義歯の設計 サベイング	サベイングの目的と技法を説明できる。 部分床義歯設計の基本原則と順序を説明できる。 仮設計と本設計を説明できる。	笠原 隼男

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
5	6月3日(月) 2時限	部分床義歯補綴学5 部分床義歯の顎間関係記録 部分床義歯の咬合	部分床義歯の咬合について説明できる。 咬合採得の術式、材料を歯列対向関係の違いに分けて説明できる。	笠原 隼男
6	6月25日(火) 3時限	部分床義歯補綴学6 フレームワーク 人工歯排列 義歯装着	フレームワークの製作法を説明できる。 作業用模型の修正法を説明できる。 耐火模型の製作法を説明できる。 フレームワークの試適方法を説明できる。 人工歯の種類と材質を説明できる。 基本的な人工歯排列方法を説明できる。 歯肉形成について説明できる。 ろう義歯試適の診査項目について説明できる。 義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。 患者指導について説明できる。 義歯装着後の不快事項の原因とその対応を説明できる。	笠原 隼男
7	7月16日(火) 3時限	歯科補綴学総論3 フェイスボウトランスファー チェックバイト 顎路調節	咬合器の使用目的について説明できる。 下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 咬合器への模型の装着および咬合器の調節方法について説明できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉
8	7月22日(月) 1時限	部分床義歯補綴学7 特殊な義歯 アタッチメント オーバーデンチャー	支台装置の一般的所要条件を説明できる。 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 オーバーデンチャーの利点、欠点を説明できる。	吉田 裕哉
9	7月22日(月) 2時限	部分床義歯補綴学8 義歯の目的別分類	即時義歯、治療用義歯、暫間義歯について説明できる。	吉田 裕哉
10	9月2日(月) 3時限	歯科補綴学総論4 睡眠歯科医学 睡眠時ブラキシズム 閉塞性睡眠時無呼吸症候群 オーラルアプライアンス	睡眠疾患と補綴歯科診療の関連性を説明できる。 睡眠時ブラキシズムの病因・病態・対応法を説明できる。 閉塞性睡眠時無呼吸症候群の病因・病態・対応法を説明できる。	吉田 裕哉
11	9月30日(月) 1時限	臨床実地対策1 臨床推論	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
12	9月30日(月) 2時限	臨床実地対策2 臨床推論	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
13	10月23日(水) 1時限	臨床実地対策3 部分床義歯の予後	部分床義歯装着後に生じる整体と義歯の変化とその対応について説明できる。 粘膜調整・リラインの適応と手技について説明できる。	吉田 裕哉
14	10月23日(水) 2時限	臨床実地対策4 義歯破損と修理	義歯破損の原因と修理方法について説明できる。	吉田 裕哉
15	11月8日(金) 1時限	臨床実地対策5 義歯設計と基本事項	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
16	11月8日(金) 2時限	臨床実地対策6 義歯設計と基本事項	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
17	12月10日(火) 2時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
18	12月13日(金) 1時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
19	12月20日(金) 2時限	部分床義歯補綴学講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	吉田 裕哉